



開催以来14年目・第32回目となるバスツアーは、昨年に引き続き東日本大震災で津波被害を受けた千葉県旭市飯岡を訪れました。2011年3月11日17:20、飯岡には最大7.6mの第3波が到達し、死者13人・行方不明者2人の被害が出ました。2012年秋開催の「東京低地災害史」展では、17:26で時を止めた「忘れじの時計」を展示しました。今回も「NPO光と風」のご協力を得て、避難タワー見学や復興の現状を学びました。利根川河口堰では、周辺の被害を知ること、広範な地域に及ぶ東日本大震災の全容を再認識しました。震災から3年・・・、みなさんの目でみた実情を伝えてください。

◆津波避難タワー

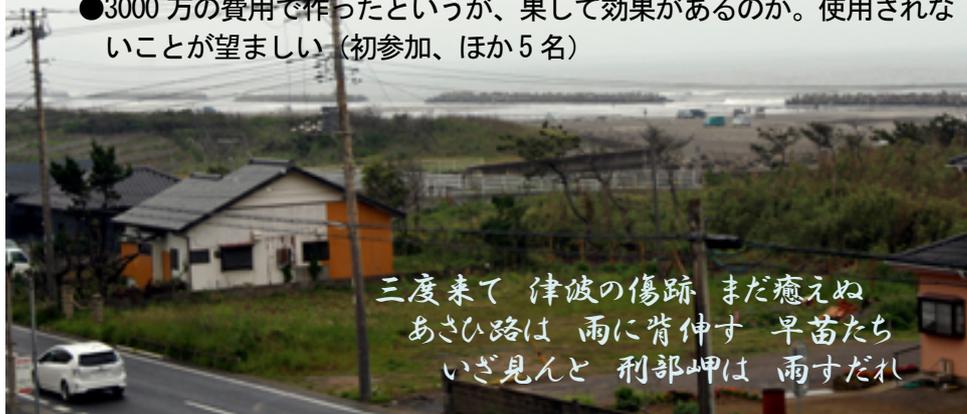
みなさんのアンケートから

女性○、男性●、(参加回数)です。

- 実際に昇ってみて、津波の高さが実感できた。スロープで昇降して足の悪い私は助かりました。小雨が残念。タワーが使われないことを祈ります(4回目)
- 震災によって心を痛めていましたので、この機会に出会いよかった。タワーもすごい費用がかかったと聞いて驚きました(初参加)
- 海岸から台地の端まで平らな地。こんな所で津波が来たらと思うとゾッとします。避難タワーが、そこにあるだけでホッとしますね。使う事が無いのが一番ですが(11回目)
- あくまで一時緊急避難用と思われる。情報取得などどうするのか？ 防災無線か？ 長時間滞在は難しいと思われる(4回目)
- 海水浴で寄せ波、引き波の強さを体験した事はあるだろう。スロープ途中で津波に襲われた時、あの手摺である柵で人間を守れるであろうか。疑問である(3回目)
- こんな高さで大丈夫なの、3ヶ所でいいの、高台まで3~4kmあるというのに(2回目)
- タワーのまわりは高い建物がないので、このタワーが出来た事で少しは安心感があると思いました(11回目)
- 下から見上げた時より、登ってみたら高かった(2回目)
- 説明目を聞くと見た感じとはちがった。いろいろな目的を持って造られていることを知った(20回目)
- 前回は見て通っただけでしたので、今回は直接登れて体感できたこと、良かったです。他にも建築中ですが、もっと多く必要ですね(3回目)
- 3000万の費用で作ったというが、果して効果があるのか。使用されないことが望ましい(初参加、ほか5名)



旭市役所
江戸義尚さん



タワーからみた飯岡海岸、浸食を護る離岸堤がみえる

- 下から見上げた時より、登ってみたら高かった(2回目)
- ゆるいスロープでらくにのぼれるタワー、万一の備え大切、痛感(13回目)
- せっかく金かけて造ったのだから、未来の本番(津波)の時、サビて使いものにならねよう、管理よろしく(6回目)

◆飯岡防潮堤・仮設住宅

○海にそって10kmに渡って6mの堤ができる。命を守るために役立ってほしい(17回目)

○高橋さんの説明で、テトラが無い時は、防潮堤まで砂浜が無くなっていた。今、砂浜が出来つつあるとお聞きして、又4.5mを越えて津波が来て、家が流された現在も空地があちらこちらにあり、津波のおそろしさが分かりました。6mでも大丈夫でしょうか?(11回目)

○防風林が適度な高さの津波に対して、有効だったのがわかりました(2回目)

○津波の事を考えれば、あの高さは必要なのでしょうが、防潮堤

に登らないと海が全く見えないのは、海で育った人にとって安らぎになるのでしょうか?「人工的な堤」と乾燥的物ではなく、生活に潤いが持てる様な堤が出来ると良いかなと思いました(11回目)

●テトラポットが移動する津波の力はおそろしいです(2回目)

●一部途切れているところもあり、工事途中か? 仮設住宅は2014年5月末が退去期限で、すでに全戸退去済、快適そうには見えなかった(4回目)

○緊急の避難所にしても、あまりに無機質に出来ています。実際に避難しなければならぬ時はさぞおそろしいでしょう(4回目)

●昨年より堤防の工事が進んで居たのが早く完成される事を(8回目)

●高さ6mの防潮堤、自然の力に対しては、人間は立ち向かうのではなく逃げる事しかないのでは(初参加)



退去が完了した仮設住宅と後方の新住居



◆刑部岬展望台・パネル展

○地元を愛するゆえに工夫された紙芝居。

写真でみる津波の様子等、被災現地の方を思いますと、その苦勞、不安…身にあまる思いとなる(初参加)

●久しぶりに紙しばい見、カンゲキ(10回目、ほか多数)

○せっかくの眺望が何も見えず、真に残念でした。津波の写真は幾度見ても、当時の事が思い出され苦しいものでした(11回目)

●空襲で灰燼になっていく東京を私は見ていた。刑部岬の高台に避難した人達は、己の村が海に呑みこまれて様をどんな思いで見えていただろうか(3回目)

○震災の前の様子と、震災後の対比が心が痛みました(4回目)



「いいおか津波 語りつく会」高橋進一さん

●飯岡港が2階の展示場とセットで見れて良かった。お弁当はおいしかった(数回目)

○雨だったので景色は残念!!紙芝居は良かったです。写真展ではやはり3.11の津波のこわさが分かりました(11回目)

●現地で、写真をみる「実感」、すごかった(6回目)

○当時(津波)の記録写真と、実際の景色を対比してみられたのがよかった。第2波の写真に写っていた人物のゆくえが気になる…という話をみなさんと話しができたのも良かったです(2回目)

●みやげのしらすは安く購入できた(初参加)

波たかく 雨風強き 刑部岬 我をどどめし うぐいすの声
遙かなるときより聞こえし 響きあり 豊玉姫の 天の石笛
海神に吞まれしみたま 幾千ぞ 刑部ヶ岬に 佐くや岩笛
雲ひくく風にまりて聞こえる 刑部ヶ浦を行く船の笛

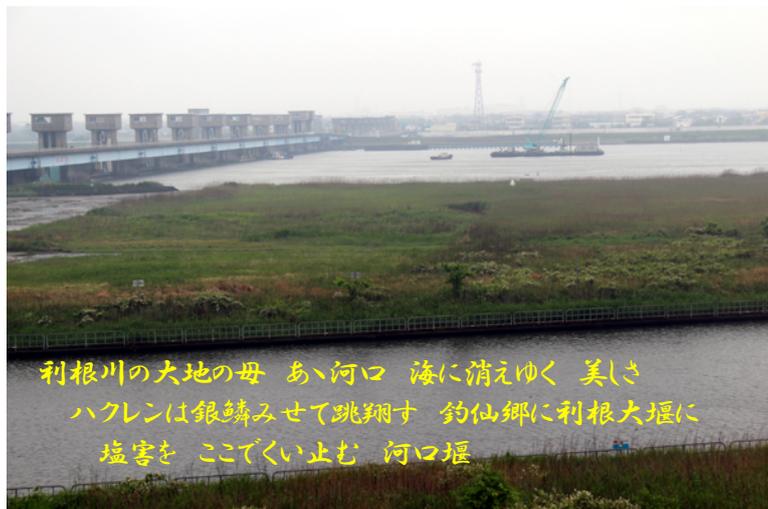


紙芝居劇団「ふく」のみなさんによる「天の石笛」



◆利根川河口堰

- 単に水量の調整だけでなく、海水の逆流（塩害対策）や自然環境の維持まで機能があることを知り勉強になった（初参加、ほか多数）
- 塩害防止だけでなく様々な事をしているお話がていねいで良かった。魚にやさしい堰だと感激しました（初参加）
- 利根川・黒部川・常陸利根川が合流する広い流域に横たわる巨大な“潮止堰”の光景は壮観！！（17 回目）
- 個人ではこれない所を見学出来大変良かった。潮が 28 km までのぼるとは知らなかった（2 回目）
- 面白かった。海水の濃度が上下で違うのが驚き（3 回目）
- 管理室（集中コントロール室）の簡素なのに驚く（数回目）
- ダイナミックな設備、自然とハイテクの連動に感心しました（4 回目）
- ボタン 1 個で水門が上がると思いませんでした、カンゲキ（10 回目）



利根川の大地の母 あゝ河口 海に消えゆく 美しさ
ハフレンは銀鱗みせて跳翔す 釣仙郷に利根大堰に
塩害を こここでくい止む 河口堰

- 上流のダム・遊水地を多く見学し、その面から治水を理解してきましたが、今日は河口堰の機能を理解でき、「河を治める」と言う、広い視野を持てるようになったと思います。利根川河口の広さにも圧倒されました。塩分濃度の調整は素晴らしいと思います（11 回目）
- 高潮を防ぐだけでなく、塩分濃度を一定に保つ為河口堰は役立っているという。塩分濃度を利用したその技術は驚きであった。私の脳度を高める方法はないのだろうか（3 回目）
- 人間と自然とのくりかえすたたかいの中で、これぞ人間の英知かもしれない。

- 水と云う大切なもの、人が生きているかぎり、されど又恐ろしいもの（7 回目）
- 大変有意義な見学でした。又、その堰の上をバスで通行とは感激でした（13 回目）
- お魚様、万歳！ ダムじゃないけどダムカード Get!（2 回目）

◆その他・自由欄

- 飯岡に再訪できる機会を得、「今」の飯岡を知り学ぶことができました。今日実感したことをいつまでも心に留め続けなければと……（17 回目）
- 水を張った早苗の水田風景は心が穏やかになった。震災は終わっていない、忘れてはいけない、伝えていかなければならない。何度でも訪れたい。ありがとうございました（数回目）
- 雨の中、バスツアー飯岡・利根、終わって見れば雨上り、バスの中で夢ごち（2 回目）

ツアー後記

あいにくの悪天候でしたが、昨年津波教訓をお話いただいた高橋さんのご案内で、飯岡の「今」を伝えていただきました。みなさんがその情報をさらに周囲に伝える事で、さらなる支援の輪が広がります。そしてあの日、河口から 18 km 利根川を遡った津波は、利根川河口堰周辺にも被害を与えました。このツアーは、広範に及んだ東日本大震災を、改めて再考する機会となったことでしょうか。またお訪ねしましょう！

担当学芸員 橋本直子
博物館専門調査員 富澤達三 補助 勝田真幸



葛飾区郷土と天文の博物館
〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1
TEL 03(3838)1101 <http://www.city.katsushika.lg.jp/museum/>

TOUR DATA		
時間	経過	時間
7:30	博物館出発	
7:45	四つ木IC	
8:18	宮野木JCT	
8:30	酒々井PA	12分
8:50	成田IC	
9:15	道の駅多古 あじさい館	15分
10:10	津波避難タワー	26分
10:48	防潮堤	10分
11:07	仮設住宅	13分
11:40	刑部ヶ崎展望台	90分
14:00	利根川河口堰	90分
16:00	道の駅 いたこ	30分
16:35	潮来IC	
17:17	湾岸幕張PA	10分
17:50	四ツ木IC	
18:08	博物館着	
内山観光バス:フェニックス号		
ドライバー:佐藤 広幸 さん		
走行距離: 270 km(倍率1.1倍)		
応募51名、キャンセル11名、当日参加43名		
参加費2300円		